

テーマ名	再生可能エネルギーの利用技術
担当教員	出井 努 准教授
学部：分野	工学部：機械分野（自然エネルギーコース）
内 容	<p>現在、世界人口は77億人を超えています。人口の増加率はアフリカ地域等の開発途上国において大きくなっています。人口の急増に伴い、食料やエネルギー問題も深刻化しています。このような状況の下、太陽光発電や風力発電、バイオマス発電などの再生可能エネルギー利用技術は、途上国においても未電化地域の電化をはじめとして様々な用途で利用されています。</p> <p>日本の国際協力事業によって途上国の未電化地域に再生可能エネルギーを導入した実例をケニア、モンゴルおよびボリビアを現地で撮影した写真やエピソードを交え内容ながら、わかりやすく説明致します。また、各再生可能エネルギー技術の原理や開発途上国の抱える問題などについても詳しく説明致します。</p> <p>※大学見学では 総合研究センターにある、トリプルハイブリッド（風力・太陽光・バイオマス）施設や太陽光発電施設（独立型、系統連系型）および風と光の広場にある小形風力発電機やウォーターハンマーポンプ等の再生可能エネルギー利用技術を実際に見学できます。</p> <p>※リモート授業（遠隔）も可能です。</p>
写真・画像	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>ケニアの地方小学校やモンゴルの未電化地域など、独立型の再生可能エネルギーを必要とする地域は多くあります。</p>
対象生徒	工業高校全科・系、普通高校（理・文）、他全系列の生徒